

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	公共下水道合流改善事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	下水道法施行令の一部を改正する政令		
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成25年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】【協働： _____】		
目的・目標		事業の概要	
合流式公共下水道区域からの大雨の際に河川へ放流される未処理水を削減することにより、水質汚濁防止ができ、区域内市民が快適に暮らしています。		河川放流される水質を分流化並みとするとともに、放流回数を半減させるため、貯留管などを整備します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	JR東海道線南側合流改善進捗率			単位	%
	説明・算定式	H22:立坑築造工事9%、H23:シールド工事34%、H24:導水管布設54%、H25:揚水施設3%（平成22年度から）				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		9	43	97	
	実績		9	43		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
松風町・久領堤貯留管築造工事その1において、シールド工事が50%完成しました。また、松風町・久領堤貯留管築造工事その2の工事に着手しました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	汚濁負荷量の削減及び公衆衛生上の安全確保、夾雑物除去を行います。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	分流式下水道区域並の放流水質となるため、有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	合流式下水道緊急改善事業として国庫補助金(5/10)を受けています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	合流式下水道区域の完全分流化には、多大な事業費と時間を要するため当面の計画としてJR東海道線南側区域も雨水貯留管による対応とします。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		JR東海道線南側の合流改善事業を着実に実施し、事業期間内(平成25年度末)に完了させます。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		揚水施設築造工事・浸透柵設置	貯留管築造工事	貯留管築造工事 導水管築造工事	貯留管築造工事 、導水渠築造工事、揚水施設整備
財源内訳	国庫支出金	231,486	75,000	246,000	521,750
	県支出金	1,352	0	1,500	0
	起債	331,200	87,800	245,500	787,200
	その他 特財	5,355	0	0	0
	一般財源	209	1,061	13,920	9,811
事業費 (A)		569,602	163,861	506,920	1,318,761
執行率 (%)		155.27	30.92	39.79	
内訳	職員 (人)	2.05	2.05	2.35	2.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		17,130	16,931	19,045	18,836
フルコスト (A+B)		586,732	180,792	525,965	1,337,597

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	国、県、関係各課との協議を進め、着実に事業を実施します。
課長コメント	水質改善と浸水対策を合わせた事業であり、市民生活に密接している事業です。期限内の完了を目指して事業を進めていきます。